

愛知県清須市

企業版ふるさと納税のご案内



目指す未来のまちの姿を実現するため、寄附のご協力をいただける企業を募集しています。

清須市のご紹介

清須市は、愛知県西部、尾張平野のほぼ中央に位置し、名古屋市に隣接しています。令和8年4月現在、人口約69,000の方が暮らしています。

魅力①

3つの川 が流れるまち

五条川・庄内川・新川の3つの川が流れる水資源に恵まれた「水」とともに暮らすまち。

魅力②

歴史 が息づくまち

織田信長公の天下統一の出発点として知られる「清洲城」に象徴されるような歴史や伝統が深く息づくまち。

魅力③

交通 アクセスの良いまち

名古屋駅までは電車で約10分以内。交通アクセスが充実した暮らしやすいまち。

織田信長ゆかりの地 清洲城

織田信長公が天下統一への第一歩を踏み出した清洲城は、市を代表する観光スポットとなっています。



出生率は 愛知県でNo. 1

高い出生率を誇る清須市では、地域全体でこどもを守り・育てるための子育て支援に力をいれています。



清須市が目指す未来のまちの姿

水と歴史に織りなされた 安心・快適で魅力あふれる “はぐくみ都市”

4つの基本理念

安心

快適

魅力

はぐくみ

「水」や「歴史」という本市が持つ個性を大切にし、さらに生かしていきながら、市民の「安心・快適」な暮らしが営まれるとともに、未来を担う人材や、まちに関わる全ての人々の思いやつながりを「はぐくみ」、地域全体が活力に満ちた「魅力」のあふれる都市の実現を目指します。

また、“はぐくみ都市”という言葉には、これからの未来を担うこどもたちの笑顔や、人と人とのつながりなど、「時代が大きく変わっていく中でも、変わらずに大切にしたい様々なものはぐくまれるまちにしていきたい」という思いが込められています。



基本目標

結婚・出産・子育ての希望をかなえ「子育ての場」として選ばれる

若い世代が安心して結婚・出産・子育てを行うことができるよう、子育てにかかる経済的負担や心理的・肉体的負担の軽減を図るため、子育て世代への支援や相談体制の充実、保育の受入れ体制の整備を推進します。加えて、市独自の子育て施策をはじめとする、本市で子育てをすることの魅力についての情報発信を行うなど、「子育てのしやすいまち」としての認知を広げる取組を推進します。

【 企業版ふるさと納税の主な対象事業を *Pick Up !!* 】

1-1 妊娠・出産・子育てにおける伴走型支援の充実（乳児家庭訪問・おむつ券の配布）

清須市は、2024(令和6)年4月7日に、「清須こども・はぐくみ宣言」を表明しました。人口減少対策の一環として、こどもや若者を地域全体ではぐくむまちづくりを推進していくという市の決意を表すものになっています。

そのうえで、妊娠・出産・子育ての希望をかなえるための伴走型支援の充実に力を入れており、2024(令和6)年度からは母子保健推進委員による乳児家庭訪問の回数を増やすとともに、訪問時のおむつ券の配布を行うなど、子育てのしやすい環境づくりに取り組んでいます。



清須こども・はぐくみ宣言式（2024(令和6)年4月7日）

1-2 校内サポートルームの整備（不登校の未然防止及び不登校の子どもの登校復帰支援）

不登校から学校復帰する段階の子どもや、不登校の兆候が見られる子どもが、学校内で安心して学習し、相談支援が受けられる環境をつくるため、校内サポートルームの設置を進めています。

2026（令和8）年度は、新たに西枇杷島中学校・清洲中学校の2校に校内サポートルームの開設を行うため、必要な整備等を行います。

「校内サポートルーム」とは？

学校に登校することはできるが、自分のクラスの教室に入ることが難しい時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用できる、学校内の空き教室等を活用した子どもの居場所。

児童生徒のペースに合わせて相談を受けたり、学習のサポートを行います。



1-3 避難所運営における公衆衛生や生活空間の確保（防災資機材・備蓄品の整備）



五条川防災センター



防災倉庫

若い世代が定住する場所を選ぶ際には、災害に強い地域であるかどうか重要な要素となります。2000（平成12）年に発生した東海豪雨により大きな被害を受けた清須市にとって、災害への対策は市の最重要課題のひとつです。

現在、水害に対応するためのハード整備を進めるとともに、万が一の災害時においても、避難所における良好な環境が確保されるよう、防災資機材や備蓄品の充実を図っています。

※場合によっては物品での寄附も可能です。ご希望の場合はご相談ください。

基本目標2

市の強みを生かして「ひと」と「しごと」の流れをつくる

企業立地や創業支援の取組により、市内の産業の更なる活性化と、新たな雇用の創出を図ります。

また、訪れて楽しめる魅力的な地域となるよう、既存の観光資源や市の特産品といったコンテンツの磨き上げや、魅力的な商業施設や飲食店等の充実に向けた検討により、交流人口及び滞在人口の拡大を目指します。

【 企業版ふるさと納税の主な対象事業を *Pick Up !!* 】

2-1 観光資源「清洲城」を生かした観光誘客促進

土曜日・日曜日・祝日を中心に、清洲城内で武将隊による甲冑試着体験や紙芝居実演等を行っています。

また、11月～12月にかけて、清洲城周辺でイルミネーションイベント「きよすイルミ」を開催し、清洲城・清洲ふるさとのやかたの夜間営業を行うなど、清洲城のPR・観光誘客促進を行っています。



甲冑試着体験の実施



きよすイルミ

2-2 地域の伝統や特色を生かした個性あふれるイベントの開催

年間を通じて、地域の伝統や特色を生かした祭り等のイベントを開催しています。
市内外から多くの来場者が訪れ、地域に活気や賑わいを創出するとともに、祭りへの参加を通じて地域の方たちの「まちへの誇りや愛着」へとつながっています。



■ 尾張西枇杷島まつり
(6月第1土・日曜日)

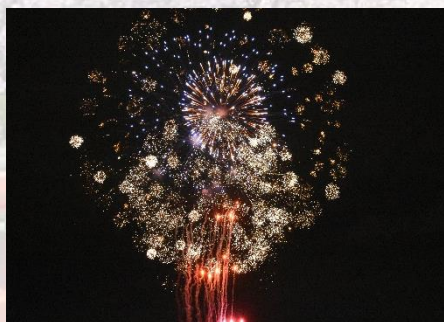


■ 清洲城信長まつり (10月)

毎年秋に清洲城一帯で開催され、時代行列や火縄銃演武、ステージイベントなどが行われます。

■ 新川やると祭 (9月)

2000(平成12)年の東海豪雨の被害から復興を進める中、住民がひとつになる祭りとしてはじまりました。やると総踊りやステージイベントなどで賑わいます。



200年以上続く歴史ある山車まつり。美濃街道を5輦の山車が勇壮に練り歩き、からくり人形の演舞を披露します。

コロナ禍でしばらく中止していた花火の打ち上げも、2025(令和7)年から再開しました。



■ 春日五条川さくらまつり
(3月下旬頃)

毎年桜の開花時期に、はるひ夢の森公園で開催され、ステージイベントや露店、たくさんのお花見客で賑わいます。また、桜は「市の花」としても制定されています。

基本目標3

誰もが活躍できる持続可能で活力にあふれた「まち」をつくる

今後、確実に訪れる本格的な人口減少局面への対応として、地域の担い手が減少していく中であっても、住民の暮らしの満足度の維持・向上を図るため、積極的なDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進によるICTの活用や、豊かな経験を持つ高齢者をはじめとする、地域貢献を望む市民・団体・企業等が十分に力を発揮することができる協働の仕組みづくりにより、持続可能で活力にあふれるまちの実現を目指します。

【 企業版ふるさと納税の主な対象事業を **Pick Up !!** 】

3-1 地域情報共有プラットフォーム「タッチポイントきよす」

子育てに関するボランティア団体の情報や開催されるイベントなどを、掲示板・地図など複数の形式で簡単に探すことができる「タッチポイントきよす」を2024(令和6)年10月に開設し、運用しています。

ボランティア団体の活動をサポートするとともに、団体の活動等による支援が必要な方への情報発信の場となっています。



【タッチポイントきよす】



<https://pc.tamemap.net/2323301>

3-2 DX(デジタルトランスフォーメーション)による市役所の窓口業務改革

市民の利便性向上のため、「行かない窓口」「書かない窓口」「待たせない窓口」を目指した、DX(デジタルトランスフォーメーション)による市役所の窓口業務改革を推進しています。

2026(令和8)年度は、以下の取組を予定しています。

行かない窓口

- 証明書のコンビニ交付サービス対象の拡充
《運用開始：2027(令和9)年4月予定》

証明書のコンビニ交付サービスの対象に、所得証明書及び課税証明書を追加し、市役所開庁時間以外でも取得することができるようになります。

- 処分通知の電子化
《運用開始：2026(令和8)年10月予定》

オンラインで受付した申請に対する処分通知を電子化することで、市民に対する通知までの時間短縮とペーパーレス化を図ります。

書かない窓口・待たせない窓口

- 庁舎内への証明書自動交付機(キオスク端末)の設置
《運用開始：2027(令和9)年4月予定》

庁舎内に証明書自動交付機(キオスク端末)を1台設置し、窓口の混雑緩和を図ります。

- 窓口業務支援システムの導入
《運用開始：2026(令和8)年10月予定》

申請書の記入など手続きにかかる負担軽減を図るため、タブレット操作やマイナンバーの活用により届出書等を作成できるシステムを導入します。

【問い合わせ・申込み】

清須市企画部企画政策課

電話:052-400-2911(代表)

電子メール:kikakuseisaku@city.kiyosu.lg.jp